

アルミ

需給タイト継続、1800—2200<sup>F</sup>

10—12月の対日アルミはトン4200<sup>F</sup>で決着した。ただ現状では多くの生産者がまだ事業継続に必要な利益を確保できる水準にないのに加え、欧米でのアルミも高止まりしている。1—3月も大幅な下げは想定しづらいため、4200—4500<sup>F</sup>とみる。

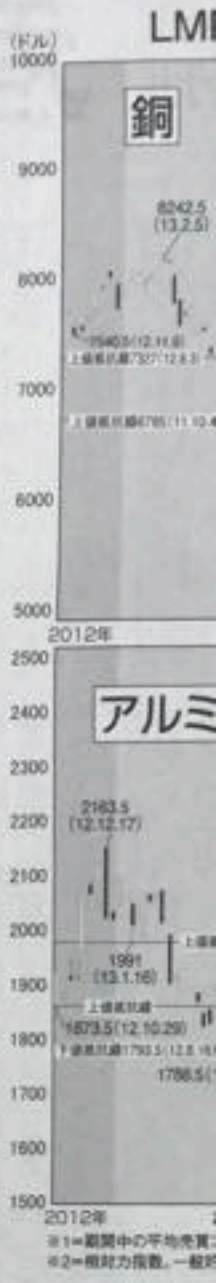
下期のロンドン金属取引所(LME)アルミ先物は、トン1800—2200<sup>F</sup>での推移を予想する。世界アルミ需要は基本的に堅調に推移するだろう。一方、供給サイドを見ると中東やアジアで増産する一方、豪州や南アフリカ、ロシアでは製錬所が閉鎖となり、ブラジルでも電力代の高騰から減産が進んでいる。このため世界の需給バランスは大幅な改善に至らず、若干のシフトになるとみる。

こうした状況はLMEアルミにとって上げ材料ではあるが、大幅に上昇すれば製錬所が増産に切り替わることも想定されるので、一本調子の上昇は考えづらい。とは言え実需が底堅いので極端な下げもないだろう。



UACJ購買部長 村栄洋亮氏

マーケットを読む Market Funds



アルミ

緩やかに上昇も上値2200<sup>F</sup>で重い



神戶製鋼所アルミ・銅事業部門原料部長 久保和広氏

10—12月の対日アルミは、トン4200<sup>F</sup>で決着した。製錬メーカー側が強気なため、1—3月も大きくは下がらない可能性が高い。ただ年後半にはLMEが上昇し、アルミが下がる展開を期待している。

ただ現在のようにはアルミが大幅に高騰し、LMEがあまりうまく機能していない状況では、大幅な上昇は考えにくいとみる。上値も2200<sup>F</sup>程度ではないか。

アルミ

アルミ

下期のLMEアルミ先物は、足元のトン1900<sup>F</sup>で近辺から緩やかに上昇する展開を予想する。要因はタイトな需給状況だ。

マーケットを読む Market Funds

アルミ

1900—2100<sup>F</sup>、倉庫ルール変更注視

需給タイトとともにLME在庫が減少するという分かりやすい材料も、ファンダの買いを引き続き誘いやすい。投機資金の動向次第では、行き過ぎる感で相場が再び2100<sup>F</sup>付近まで上昇しても不思議ではないとみている。

現在のアルミ相場はLMEとアルミ(暫増金)を足した価格で見る必要があるが、実需からすると2500<sup>F</sup>を超える水準は高すぎる。アルミがトン400<sup>F</sup>程度で高止まりする中、LME価格の2100<sup>F</sup>以上は想定しづらい。

ロンドン金属取引所(LME)のアルミ3カ月物は、トン1900—2100<sup>F</sup>を予想する。最も注目すべき材料は、入庫より出庫が常に多くなるLME倉庫ルールの変更。適用されれば、地金をほしがっているユーザーの買いが入ることで、相場は底堅く推移するとみている。



みずほ銀行デリバティブ営業部調査役 佐藤隆一氏

14年度下期市況見通し④

アルミ

供給不足で上昇圧力、2000—2200<sup>F</sup>中心



野村証券・経済調査部シニアエコノミスト 大越龍文氏

米連邦準備制度理事会(FRB)が、ゼロ金利政策を「相当の期間」維持するとの方針を確立した際には、相場は思ったより大きく下押しするだろう。その後は、供給不足を背景に下期末にかけて2300—2400<sup>F</sup>あたりまでの上昇もあり得るとみている。

ロンドン金属取引所(LME)のアルミ3カ月物は、トン2000—2200<sup>F</sup>中心を予想する。生産者が大幅減産を行っている中で、インドネシアによるポキサイトの輸出禁止など、供給不足傾向は続く見通し。

アルミ

アルミ

ロンドン金属取引所(LME)のアルミ3カ月物は、トン2000—2200<sup>F</sup>中心を予想する。生産者が大幅減産を行っている中で、インドネシアによるポキサイトの輸出禁止など、供給不足傾向は続く見通し。

アルミ

の7カ月連続。10%超下落しており、▼アルミLME現物相場は下値を探る展開。急ピッチな上昇後、抵抗線を相次いで下抜けるなど売り優勢が続いている。感はない。

アルミ

割増金高止まりが重し、1800—2100<sup>F</sup>

直近で1900<sup>F</sup>を割り込むなど、相場の波乱要因は投機資金になる。投機的動きが大きくならなければ、レンジ内で堅調な推移を見込んでいる。

需給面の不安は少ない。国内メーカー含めた自動車生産は世界的に好調で、アルミ需要を後押しする。生産者の大幅な減産などから、供給量は限定的だ。

ロンドン金属取引所(LME)のアルミ3カ月物は、おおよそトン1800—2100<sup>F</sup>で推移すると予想する。需給が引き締まっていくため、相場は底堅く推移する見通し。ただ、アルミ(暫増金)の高止まりが続けば、LME価格の上値を押し上げることに繋がる。



岡村金属社長 岡村晋吾氏

住友電気工業は3日、スウェーデン製鋼用新材料「AC6030M/AC6040M」と相切用アルミ「EM型」を開発

アルミ

1750—2100<sup>F</sup>、地政学リスクも



橋本アルミ取締役 橋本健一郎氏

LMEアルミ相場はトン1750—2100<sup>F</sup>と予測する。焦点は米金融政策と中国景気の回復や対策、対ロシアとイスラム圏の地政学リスクの3点。米連邦準備制度理事会(FRB)は9月の声明で量的緩和終了を明記したが、低金利は相当期間続けるとし商品全般にとってはプラス。中国は人民銀行が景気減速を受け、大手銀行に5000億元の金融支援を実施したが、G20で景気対策には積極的で構造改革を優先するため小幅減速は避けられない。対露問題は、米露敵対大国間の問題で資源問題を含むさまざまな懸念から現状から大きく進展後退することはない。イスラム圏は、慎重だったオバマ大統領が状況悪化を受けて政策を転換し空爆を開始。今後、米軍地上部隊投入ともなれば景気後退は避けられず短期的には悪材料となる。米低金利が継続し、中国の景気減速がソフトであり、地政学リスクがなければ上期高値の2100<sup>F</sup>。悪材料が重ければ安値1750<sup>F</sup>と予測する。

アルミ

LMEアルミ相場はトン1750—2100<sup>F</sup>と予測する。焦点は米金融政策と中国景気の回復や対策、対ロシアとイスラム圏の地政学リスクの3点。米連邦準備制度理事会(FRB)は9月の声明で量的緩和終了を明記したが、低金利は相当期間続けるとし商品全般にとってはプラス。中国は人民銀行が景気減速を受け、大手銀行に5000億元の金融支援を実施したが、G20で景気対策には積極的で構造改革を優先するため小幅減速は避けられない。対露問題は、米露敵対大国間の問題で資源問題を含むさまざまな懸念から現状から大きく進展後退することはない。イスラム圏は、慎重だったオバマ大統領が状況悪化を受けて政策を転換し空爆を開始。今後、米軍地上部隊投入ともなれば景気後退は避けられず短期的には悪材料となる。米低金利が継続し、中国の景気減速がソフトであり、地政学リスクがなければ上期高値の2100<sup>F</sup>。悪材料が重ければ安値1750<sup>F</sup>と予測する。



【西尾】中部地区の大手アルミ二次合金メーカー「アスカ工業(本社・愛知県西尾市、天

日本伸銅品同業組合の講習会(会長1関口泰宏・関口富雄商店社長)は3日、東京・東大井の品川区立総合市民会館「きゅりあん」で第31回伸銅品技術講習会を開催した。会員企業やメーカーから約100人が参加。伸銅品の基礎知識に関する講習のほか、特別テーマとして超電導の最先端技術に関する専門家

技術講習会と伸銅品同業組合

し、来月から発売すると発表した。同社は初年度販売で5億円、3年後に25億円まで引き上げる。ステンレスは加工面が硬化することから工具の刃先が欠けやすくなり、刃先が高熱となって塑性変形が起きやすいため、刃先が欠けやすかった。さらに切りやす